

別紙

- 「疫学研究に関する倫理指針」第3. 1 (2) <インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究の実施について公開すべき事項に関する細則>に基づく医学系研究科 URLへの公開情報

本様式は、研究開始前に被験者から同意を得ている場合、又は病理材料等についてすでに連結不可能匿名化（連結可能匿名化であって本学内に対応表を有していない場合を含む）が行われている場合以外に作成してください。

研究機関名：東北大学

受付番号：2012-2-128
研究課題名 食道癌手術患者の歩数計を用いた回復期リハビリテーションの効果
研究期間 西暦 2012 年 12 月（倫理委員会承認後）～2014 年 4 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療記録情報）
上記材料の採取期間 西暦 2011 年 4 月～2011 年 12 月
意義、目的 術後の安静臥床、筋力の低下だけでなく、呼吸機能・循環機能の低下、廃用症候群をまねきやすく、それらを予防するうえで早期離床は重要な役割を果たしています。早期離床を促進するために東北大学病院西 7 階病棟では歩数計を用いた術後回復期リハビリテーションの有効性を検証する研究を実施します。歩数計を用いた術後回復期リハビリテーションの効果を明らかにするためには、過去に同様の手術を受け、歩数計を使用せずにリハビリテーションを行った患者様のデータと比較する必要があります。
方法 2011 年 4 月から 2011 年 12 月に西 7 階病棟に入院し食道癌で胸腔鏡下食道切除・頸部吻合・HALS 胃管作成・腸瘻造設術を受けた 50 歳～79 歳で日常生活が自立されていた患者様の診療記録等から術前・術後 1 週間の 6 分間歩行距離のデータ、手術や性・年齢に関するデータを転記し、2012 年以降に歩数計を利用してリハビリテーションを実施した患者様のデータと比較します。氏名、住所などの個人情報はいりません。すでに匿名で記録された診療情報を利用した研究ですので、参加された患者様に危険・不利益が生じることはありません。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学病院西 7 階病棟 〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 TEL: 022-717-7716 担当:熊谷英子（病棟師長）